

JICA 海外協力隊による大森大使への離任前表敬

令和 6 年 10 月 18 日



10月15日、大森摂生大使は、任地での活動を終えて帰国するJICA海外協力隊員7名による表敬を受けました。今回離任する隊員は、2022年10月から2024年10月までの2年間を任務期間とし、ハボローネ市内又はハボローネ近郊の各任地において、専門性を活かしたボランティア活動(品質管理・生産性向上、コンピュータ技術、廃棄物処理、環境教育、コミュニティ開発)に従事しました。また、配属先や任地のコミュニティにおいて、日・ボツワナの文化交流においても大きく貢献されました。

大森大使から隊員に対し、労いの言葉とともに、帰国後ボツワナでの経験を活かして活躍されるよう、激励の言葉が述べられました。

JICA(独立行政法人国際協力機構)が派遣する青年海外協力隊/シニア海外協力隊は、ボツワナの地方自治体や教育機関、NGO等へ派遣され、各コミュニティの地域組織・住民・学校等と協力し、様々な分野において日々活動しています。